



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月5日

上場取引所 東・名

上場会社名 コスモ石油株式会社

コード番号 5007 URL <http://www.cosmo-oil.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 桂造

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画ユニット (氏名) 濱口 正道 TEL 03-3798-3180  
コーポレートコミュニケーション部長

四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,653,516	14.1	15,651	ー	18,377	ー	1,199	ー
25年3月期第2四半期	1,449,206	△0.3	△18,652	ー	△21,660	ー	△79,072	ー

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 8,053百万円 (ー%) 25年3月期第2四半期 △79,774百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	1.42	ー
25年3月期第2四半期	△93.35	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	1,647,731	264,987	14.3	278.77
25年3月期	1,743,492	256,932	13.2	272.07

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 236,131百万円 25年3月期 230,456百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
26年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
26年3月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,560,000	12.4	52,000	△0.8	54,000	11.5	14,000	ー	16.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	847,705,087株	25年3月期	847,705,087株
26年3月期2Q	647,142株	25年3月期	644,157株
26年3月期2Q	847,059,418株	25年3月期2Q	847,066,411株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成25年5月14日に公表いたしました通期の業績予想等について、本資料において修正しております。本資料に記載されている業績見通し等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記業績予想等に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

四半期決算補足説明資料は、平成25年11月5日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4～5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8～9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記).....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10～11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は1兆6,535億円(前年同期比+2,043億円)、営業利益は157億円(前年同期は営業損失187億円)、経常利益は184億円(前年同期は経常損失217億円)、四半期純利益は12億円(前年同期は四半期純損失791億円)となりました。

各セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

- ① 石油事業につきましては、油価上昇により、売上高は増加しましたが、製品市況は低調だったため、売上高は1兆6,251億円(前年同期比+2,008億円)、セグメント損失は106億円(前年同期はセグメント損失377億円)となりました。
- ② 石油化学事業につきましては、製品販売数量の増加及び市況の回復により、売上高は149億円(前年同期比+16億円)、セグメント利益は26億円(前年同期はセグメント損失22億円)となりました。
- ③ 石油開発事業につきましては、販売数量の減少等により、売上高は320億円(前年同期比△21億円)、セグメント利益は228億円(前年同期比△14億円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態と致しましては、総資産は1兆6,477億円となり、前連結会計年度末比958億円減少しております。これは、主に販売数量減少に伴う売掛金の減少及びたな卸資産が減少したこと等によるものです。純資産は前連結会計年度末比81億円増加し、2,650億円となり、自己資本比率は14.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(業績予想の修正について)

通期の連結業績予想につきましては、前回想定(平成25年5月14日公表、原油価格100ドル/バレル、為替レート100円/ドル)と比較し、第2四半期連結累計期間にて発生した石油事業における製品市況の低迷ならびに石油開発事業における販売数量減少の影響が見込まれます。このため、売上高は3兆5,600億円(前回公表比+100億円)、営業利益は520億円(前回公表比△120億円)、経常利益は540億円(前回公表比△70億円)、当期純利益は140億円(前回公表比△20億円)となる見通しです。

なお、今回の見通しは、通期(4～3月)の原油価格104.9ドル/バレル、為替レート98.9円/ドルを前提としております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社における税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更

(耐用年数の変更)

当社が保有する製油所の有形固定資産のうち、機械装置、構築物及び油槽の耐用年数については、従来、主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、供給体制の再構築のために平成25年7月をもって坂出製油所を閉鎖することを平成24年8月に決定したことを契機として、既存の製油所設備の使用状況について精緻に見直しを行った結果、第 1 四半期連結会計期間より、その使用実態をより反映した経済耐用年数に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、当第 2 四半期連結累計期間の減価償却費が4,990百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は4,393百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	130,264	147,258
受取手形及び売掛金	282,889	192,137
有価証券	512	1,521
商品及び製品	248,524	280,576
仕掛品	998	1,241
原材料及び貯蔵品	242,378	170,341
その他	61,915	73,762
貸倒引当金	△334	△220
流動資産合計	967,148	866,619
固定資産		
有形固定資産		
土地	304,495	304,120
その他(純額)	278,214	275,916
有形固定資産合計	582,709	580,036
無形固定資産	51,518	50,742
投資その他の資産		
その他	142,200	150,146
貸倒引当金	△613	△441
投資その他の資産合計	141,586	149,704
固定資産合計	775,814	780,483
繰延資産		
社債発行費	529	629
繰延資産合計	529	629
資産合計	1,743,492	1,647,731
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	277,934	248,659
短期借入金	277,429	258,421
1年内償還予定の社債	1,680	1,680
未払金	221,700	150,653
未払法人税等	10,175	3,918
引当金	8,417	5,896
その他	19,273	19,511
流動負債合計	816,611	688,741
固定負債		
社債	74,480	83,640
長期借入金	489,299	502,951
引当金	25,526	24,314
その他	80,642	83,097
固定負債合計	669,948	694,003
負債合計	1,486,559	1,382,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	107,246	107,246
資本剰余金	89,440	16,967
利益剰余金	10,531	84,206
自己株式	△140	△141
株主資本合計	207,078	208,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,770	6,157
繰延ヘッジ損益	1,422	1,169
土地再評価差額金	19,037	19,034
為替換算調整勘定	△851	1,490
その他の包括利益累計額合計	23,378	27,852
少数株主持分	26,475	28,855
純資産合計	256,932	264,987
負債純資産合計	1,743,492	1,647,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
売上高	1,449,206	1,653,516
売上原価	1,408,868	1,577,182
売上総利益	40,337	76,333
販売費及び一般管理費	58,990	60,681
営業利益又は営業損失 (△)	△18,652	15,651
営業外収益		
受取利息	109	105
受取配当金	507	532
為替差益	2,044	1,246
持分法による投資利益	174	5,887
その他	2,819	2,858
営業外収益合計	5,655	10,630
営業外費用		
支払利息	6,164	6,479
その他	2,499	1,425
営業外費用合計	8,664	7,905
経常利益又は経常損失 (△)	△21,660	18,377
特別利益		
固定資産売却益	801	94
受取保険金	360	1,158
特別利益合計	1,162	1,252
特別損失		
固定資産売却損	64	18
固定資産処分損	1,222	1,104
減損損失	540	288
投資有価証券評価損	1,110	—
アスファルト漏洩事故に係る損失	7,594	—
事業構造改善費用	2,013	—
生産物分与費用回収権関連損失	1,144	—
特別損失合計	13,689	1,411
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△34,188	18,219
法人税等	42,522	14,662
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△76,710	3,557
少数株主利益	2,362	2,357
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△79,072	1,199



(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△76,710	3,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,033	2,159
繰延ヘッジ損益	△1,550	△306
為替換算調整勘定	△426	957
持分法適用会社に対する持分相当額	△53	1,686
その他の包括利益合計	△3,064	4,496
四半期包括利益	△79,774	8,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82,138	5,675
少数株主に係る四半期包括利益	2,363	2,377

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△34,188	18,219
減価償却費	18,430	14,866
のれん償却額	—	365
負ののれん償却額	△649	△628
固定資産処分損益 (△は益)	1,222	1,104
減損損失	540	288
生産物分与費用回収権関連損失	1,144	—
事業構造改善費用	2,013	—
アスファルト漏洩事故に係る損失	7,594	—
受取保険金	△360	△1,158
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,110	—
引当金の増減額 (△は減少)	258	192
受取利息及び受取配当金	△616	△637
支払利息	6,164	6,479
為替差損益 (△は益)	△769	△628
持分法による投資損益 (△は益)	△174	△5,887
固定資産売却損益 (△は益)	△737	△76
生産物分与費用回収権の回収額	3,421	3,431
売上債権の増減額 (△は増加)	72,181	90,751
たな卸資産の増減額 (△は増加)	26,191	41,526
仕入債務の増減額 (△は減少)	△87,090	△29,274
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4,701	△12,496
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△11,009	△62,903
その他	911	△133
小計	887	63,398
利息及び配当金の受取額	936	917
利息の支払額	△6,452	△6,472
災害損失の支払額	△4,379	△93
アスファルト漏洩事故に係る損失の支払額	△4,627	—
事業構造改善費用の支払額	—	△1,311
保険金の受取額	1,687	1,181
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△16,322	△18,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,270	39,533

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△185	△119
投資有価証券の売却及び償還による収入	580	20
関係会社株式の取得による支出	△3,807	△0
関係会社株式の売却による収入	48	—
有形固定資産の取得による支出	△15,565	△12,719
有形固定資産の処分に伴う支出	△806	△956
有形固定資産の売却による収入	2,129	317
無形固定資産及び長期前払費用等の取得による支出	△2,578	△14,039
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△170	△305
定期預金の払戻による収入	—	1,096
定期預金の預入による支出	△14,489	△7,637
その他	97	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,747	△34,321
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	58,678	△9,362
長期借入れによる収入	18,000	23,710
長期借入金の返済による支出	△26,327	△21,253
社債の発行による収入	19,631	9,843
社債の償還による支出	—	△840
配当金の支払額	△6,779	—
少数株主への配当金の支払額	△8	△9
少数株主からの払込みによる収入	—	13
その他	△68	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,125	2,005
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,321	4,042
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,428	11,260
現金及び現金同等物の期首残高	122,431	129,699
現金及び現金同等物の四半期末残高	123,859	140,959

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年 6 月25日開催の第107回定時株主総会決議に基づき、資本準備金72,472百万円及び利益準備金7,407百万円を減少し、それぞれその他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金のうち72,472百万円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行いました。

この結果、第1 四半期連結会計期間において資本剰余金が72,472百万円減少し、利益剰余金が72,472百万円増加しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第2 四半期連結累計期間(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	石油事業	石油化学事業	石油開発事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	1,413,141	5,254	21,635	9,174	—	1,449,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,146	8,016	12,457	24,170	△55,790	—
計	1,424,287	13,271	34,092	33,345	△55,790	1,449,206
セグメント利益又は損失(△)	△37,661	△2,217	24,209	842	△6,833	△21,660

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事業、保険代理業、リース業、旅行業、風力発電業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,833百万円には、セグメント間取引消去△1,177百万円、たな卸資産の調整額△5,559百万円、固定資産の調整額△94百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失(△)と調整を行っております。

当第2 四半期連結累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	石油事業	石油化学事業	石油開発事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	1,611,093	6,766	25,585	10,070	—	1,653,516
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,982	8,157	6,428	23,300	△51,868	—
計	1,625,076	14,923	32,014	33,370	△51,868	1,653,516
セグメント利益又は損失(△)	△10,573	2,582	22,791	2,401	1,175	18,377

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事業、保険代理業、リース業、旅行業、風力発電業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額1,175百万円には、セグメント間取引消去△39百万円、たな卸資産の調整額2,078百万円、固定資産の調整額△854百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当社が保有する製油所の有形固定資産のうち、機械装置、構築物及び油槽の耐用年数については、従来、主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、供給体制の再構築のために平成25年7月をもって坂出製油所を閉鎖することを平成24年8月に決定したことを契機として、既存の製油所設備の使用状況について精緻に見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より、その使用実態をより反映した経済耐用年数に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の石油事業のセグメント損失は4,681百万円減少しております。